

京都大学大学院教育学研究科附属臨床教育実践研究センター主催  
公開講座

## 文化と無意識

—精神分析は現代を生きる私たちにとってどのように役立つのだろうか—

## Culture and the Unconscious

—How can psychoanalysis help us in the world in which we live today?—

カ ナ ン ナ ヴ ァ ラ ト ナ

講師：Kannan Navaratnem 先生

(京都大学大学院教育学研究科客員教授/ University College London 名誉准教授)

通訳：山本 文 先生 (日本メンタライゼーション研究会)

司会：野口 寿一 (京都大学大学院教育学研究科准教授)

挨拶：松下 姫歌 (京都大学大学院教育学研究科教授・附属臨床教育実践研究センター長)

日 時：2024年11月3日(日) 13時～16時 (12時半受付開始)

会 場：キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室

(京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」より徒歩5分)

対 象：市民一般、心理臨床専門家、教育関係者

受講料：3,500円

定 員：100名【先着順】

カナン・ナヴァラトナ先生は、中間学派の精神分析家であり、イギリス精神分析協会の訓練分析家、University College London の名誉准教授としてご活躍されています。タヴィストックセンターにて訓練を受けたのち、同センターにて客員講師を務められ、専門家の指導と訓練に従事しておられます。また、イギリスの公的医療機関や居住型心理療法施設、慈善団体等、臨床現場においても長年、指導的立場を担ってこられました。近年では、アジア圏でも多くの講演をなさっており、専門家への教育活動にも精力的に携わっておられます。

本講座では、現代の科学技術の進歩によってもたらされた、深刻な文化的・社会的問題について取り上げていただきます。その背景に、人間が自分の中だけでなく、共同体や国家、自身を取り巻く環境において、本質的に抱える葛藤があることに触れ、精神分析的な観点がそうした諸問題に対し、どのように活かされうるのかということを探求していきます。

今回は、山本 文先生に、逐次通訳、解説をしていただきます。是非ご参加ください。

申込方法：教育学研究科ウェブページ (<https://www.educ.kyoto-u.ac.jp/news/post-12690/>)

もしくは申込フォーム QR コードよりお申込みください。

申込締切日：2024年10月4日(金) ※定員になり次第締め切ります。

受講決定通知および受講料支払い方法：

10月中旬にメールにて受講決定通知、受講料の振込方法を案内いたします。

案内をお受け取り次第、受講料を銀行振り込みにてお支払いください。

振込期日は10月下旬になります、期日厳守でお願いいたします。

なお、入金後の返金はいたしかねますので、予めご了承ください。

※天候不順や感染症流行等により開催中止となる場合もございます。

その場合は、10月下旬以降に教育学研究科ウェブページ上でお知らせ致します。



申込フォーム QR コード

問合せ先：京都大学大学院教育学研究科附属臨床教育実践研究センター 「公開講座」係

Tel：075-753-3052 E-mail: 020clpsycenter@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp